

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援ふらっぷ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月6日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2026年 1月 6日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 6日		～ 2026年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービスとの連携により、事業所での様子や課題などを踏まえた支援を行う事が出来ます。	<ul style="list-style-type: none"> 放課後等デイサービスでの様子や課題に対する取り組みを積極的に先生と共有しています。 日頃より、支援方法や支援方針が学校生活や授業に影響を及ぼさないかを先生に確認しています。 事業所で良い成果の出た取り組みについては、常時、先生と共有しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までの訪問実績を踏まえて、ケースごとの支援方法の精度を向上させるために協議を継続します。 定期的に訪問先の先生と支援内容や普段の様子に関する検証を行います。
2	学校での様子を放課後等デイサービスでの支援に反映させることにより、支援の方向性や支援方法の見直しや改善を実施する事が出来ます。	<ul style="list-style-type: none"> 訪問支援中に把握した課題については、速やかに各事業所へとアナウンスして、日々の支援に反映させるように心がけています。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校で使用されている教材等で、事業所でも活用できそうなものに関しては、協議のうえ、導入していきます。 学校で実施されている支援方法を共有して、特性に応じた支援方法の見直しを行います。
3	直接的な課題だけではなく、支援とは関係のない休憩時間などにも関わりを持つようにしており、幅広い情報を保護者に提供する事ができます。	<ul style="list-style-type: none"> 休憩時間の様子などを知ることにより、個別支援計画書に記載が無いような項目(お友達の関わりなど)を把握する事が出来るので、時間に余裕がある時は、出来るだけ一緒に過ごすようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、時間が許す限りは授業以外の時間にも関わりを持つようにして、授業中以外の様子や課題の把握に努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	重度の利用者に対する支援の経験が少なく、支援に入る際に思うような成果が出にくかったり、本人に負担をかけてしまう恐れがあります。	<ul style="list-style-type: none"> 訪問支援員は同社内の放課後等デイサービスの関係者であり、同デイサービスは重度の利用者が少なく、支援の場面が限られています。 	<ul style="list-style-type: none"> 社内での重度の利用者に対する勉強会等を実施して、支援方法の見直しや改善に努めます。 支援方法や特性、留意点について保護者に丁寧に聞き取りを行い、学校とも共有しながら支援方法の調整を進めていきます。
2	男性職員が多いので、女性利用者に対する支援の際に、課題の内容によっては対応できない場面も想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> 女性職員の人数が少ないことが課題です。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に職員の拡充を行い、女性職員の比率の向上に努めます。
3	訪問支援員の学校間の移動は、車に限定しているので、車で訪問できない学校には支援が出来ません。	<ul style="list-style-type: none"> 訪問エリアが幅広い為、車で学校間移動が必須となっていることが課題になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問エリアを分けて、エリアごとの担当を決めるなどして、幅広い学校のニーズに応えられるように努めます。 従業者を増やしながらニーズに応じた支援が出来るように努めます。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 保育所等訪問支援ふらっぴ

公表日 2026年 3月 30日

2026年 3月 30

利用児童数 日

回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	20	2	0	0	・必要な機材は学校や保護者が用意しているため、必要ありません。	・課題に応じて保護者や訪問先と相談しながら必要な教材を揃えていきます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	22	0	0	0	・面談は放デイの相談室で行うので問題ありません。	・引き続き、プライバシーや個人情報の取り扱いに注意をしていきます。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	22	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	22	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	20	0	0	2	・子供の状態をよく理解している職員の先生方が訪問されるので、信頼しています。	・職員の拡充および教育を強化していきます、幅広いニーズに応えられるように努めてまいります。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1	0	2	・子供の状態をよく理解している職員の先生方が訪問されるので、信頼しています。	・各種資格を持った保育士職員の確保に努めて、より専門性の高い支援が提供できるように努めます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	0	0	1		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	18	3	0	1	・よく担任の先生とお話されていると聞いています。	・引き続き、訪問先との関係構築に努めて、より多くの情報の共有が出来るようにしてまいります。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1	0	2		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	2	0	2	・希望の時間帯に訪問されないこともありますが、授業の入れ替わりが激しいので仕方がないかと思っています。	・訪問枠の見直しを随時行い、訪問支援計画に沿った支援に努めます。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	22	0	0	0	・先生からは助かっているという声をよく聞きます。	・引き続き、訪問先の先生方とも連携して、快く受け入れて頂けるように努めます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	3	0	1		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	3	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	17	0	3	2	・必要な時に必要な相談をして対応してもらっています。	・日頃より情報収集に努めて、幅広い相談ニーズに応えられるように努めます。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	21	0	0	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	0	0	1	・半年に一回実施しています。	・支援目標が達成された場合には、半年を待たずに、適時見直しを行います。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1	0	2		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1	0	2		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1	0	1		
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	18	3	0	1		
21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	19	1	0	2			

	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	22	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1	1	2	・メールで当日にあった内容の報告を受けています。	・SNSでの報告は個人情報の取り扱い上、難しいですが、連絡帳を通じて安心して頂ける情報発信に努めます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	0	0	1		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	19	0	0	3		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	0	0	1		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	19	1	1	1	・「今日はふらっぶの先生来る？」と子供から聞かれるので、楽しみにしているようです。 ・休み時間になったら一緒にバスケットをするのが楽しみの様です。	・支援を通じて子供達との信頼構築に引き続き努めます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	20	1	0	1	・いつもありがとうございます。	・安心してご利用いただけるように、支援の質の向上に努めます。

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日	2026 年 3月 30日
保育所等訪問支援ふらっぷ	利用児童数	2026年 3月 30日 回収数7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	7	0	0	・非常に参考になっています。	・引き続き、分かりやすい説明に努めます。 ・引き続き適切に連携をとります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	7	0	0	・アイデアが豊富で大変参考になっています。	・継続的に支援方法を見直します。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	7	0	0	・質問したらその場で解答してくれており、大変助かります。	・質問に対して出来るだけ早く回答できるように努めます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	7	0	0		
5	事業所からの支援に満足していますか。	7	0	0	・いつもお世話になっております。 ・毎日でも来てほしいです。	・先生方と一緒に協力しながら、子供たちの困りごとの解消に努めます。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援ふらっぷ		公表日			2026年 3月 30日		
		チェック項目			工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点			
			はい	いいえ					
環境 制・ 運 備 営 ・ 体	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	0	・現状の支援内容では過不足ありません。	・言葉によるコミュニケーションが難しい子供に対するコミュニケーションカードなど、訪問先とも協議をしながら導入を検討します。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0	・理学療法士などの専門職員を増やすと、幅広いニーズにこたえる事が出来るようになると思います。	・理学療法士などの専門性の高い職員の拡充を目指します。			
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	0	・その都度協議をしながら共有しています。	・タブレットやシステムの導入など、スピード感を持って行えるシステムの導入を検討中です。			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	1	・面談等で保護者の以降は丁寧に聞き取るように心がけています。	・引き続き、頂戴したご意見については、速やかに職員間で共有して業務改善に繋げてまいります。			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	・毎日朝礼等で情報共有をしており、必要に応じて意見の聞き取りを行っています。	・訪問支援だけではなく、放課後等デイサービスの職員からの意見も取り入れるようにしていきます。			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2	・第三者による外部評価は取り入れていません。	・第三者による外部評価を検討します。			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0	・定期的に面談を行う他、外部研修も必要に応じて申請を行います。	・引き続き、要件を満たした職員は外部研修に参加させて、様々なニーズに応えられるように努めます。			
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2	0	・保護者に対する丁寧な聞き取りを行う他、日々の支援で感じた改善や躰きあれば、その都度共有して見直します。	・アセスメントの勉強会などを実施しながら、本人主体の支援計画作成に繋げてまいります。			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0	・支援計画作成の際には、放課後等デイサービスの職員の意見も取り入れながら作成しています。	・放課後等デイサービスの職員の意見も取り入れながら検討を進めていきます。			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1	1	・日頃より、訪問先の先生方とは意見交換を行っており、共有した内容を支援計画に反映させています。	・必要に応じて訪問先の先生方と意見交換をする場を設けていきます。			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	・支援計画は職員間で共有しています。	・定期的に支援方法や支援状況に関する振り返りを行います。			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0	・日々の支援を通じて、子供の変化を拾い上げられるように配慮しています。	・標準化されたツールの導入を検討します。			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1	1	・出来るだけ具体的に伝わるように作成しています。	・ガイドラインの勉強会を実施します。			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	・支援計画は職員間で共有しています。	・定期的に支援方法や支援状況に関する振り返りを行います。			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0	・朝礼だけではなく、終礼なども行いながら情報共有を積極的に行っています。	・打ち合わせの内容を見直して、より詳細な情報共有が出来るように検討します。			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0	・終礼時に支援中の気づきについては共有しており、気になる点があった際には連絡帳などにも記載しています。	・打ち合わせの内容を見直して、より詳細な情報共有が出来るように検討します。			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	0	・学校の授業の妨げにならないように配慮しています。	・引き続き、訪問先の先生方のご意見なども踏まえながら、支援の振り返りを行います。			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2	0	・支援記録は出来るだけ詳細に残すように心がけています。	・記録する内容について、必要に応じて見直しを行います。			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	1	・半年に一回モニタリングを行い、保護者の意向を確認するようにしています。	・支援の進捗を踏まえて、こちらから見直しをアナウンスするようにします。				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	0	2	・必要に応じてサービス担当者会議に出席しています。	・引き続き、関係機関と連携しながら担当者会議に参加していきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	2	・連携が必要な事案があった際には、速やかに対応するようにしています。	・引き続き、関係機関と連携しながら担当者会議に参加していきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0	・就学前に担当教諭と事前協議を行い、個別支援計画書の内容の共有と、支援方法について協議を実施しています。	・事前に保護者とも情報共有しながら、出来るだけ速やかに就学時の情報共有をすすめていきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	2	・要件を満たした職員には外部研修や資格取得をしてもらっています。	・要件を満たした職員については、外部研修などの受講を進めていきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	2	・外部会議には出席していません。	・必要に応じて各部会への出席を検討していきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0	・支援があった当日中に連絡帳を通じて、支援時の様子を報告しており、課題などについても出来るだけ細かく伝えるようにしています。	・連絡帳は出来るだけ詳細に記述するようにして、安心してご利用いただけるように努めます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1	・個別の面談で質疑応答の時間を設けて、提案や情報共有を行っています。	・ペアレントトレーニングの拡充を検討します。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0	・出来るだけ丁寧な説明を心がけています。	・ご案内方法についても見直しを行い、分かりやすい説明を心がけます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	0	・年度が変わる度に、個別支援計画書の内容に沿って、課題と支援方法について共有しています。	・訪問先に安心して頂ける説明に努めます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0	・半年に一回モニタリングを行い、保護者の意向を確認するようにしています。	・面談時に出来るだけ支援時の詳細をお伝えして、現状把握とこれからの課題について聞き取れるように努めます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	0	・支援計画について疑問があった場合には速やかに回答するようにしています。	・分かりやすい支援内容の記載に努めます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1	1	・要望があった際には速やかに助言等の支援を行うようにしています。	・関係機関とも連携を強化していきながら、相談があった際には、速やかに援助できるように努めます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	2	・現状、父母会は実施しておりません。	・保護者会の開催も検討します。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0	・相談やご意見があった場合には、速やかに対応するようにしています。	・引き続き、安心してご相談いただけるように体制の強化に努めます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	1	・訪問支援先に関する情報の公開は考えていません。	・個人情報に留意したSNSの発信を検討します。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0	・個人情報の取り扱いに対する研修を行い、十分に配慮するようにしています。	・定期的に勉強会を開催して、丁寧な個人情報の取り扱いに努めます。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0	・言葉でのコミュニケーションが難しい利用者に対する意思疎通が課題とあります。	・訪問先とも協議しながら、コミュニケーションカードの導入なども検討します。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	0	・訪問先からの相談があった場合には、放課後等デイサービスでの様子なども踏まえながら助言等の支援を行っています。	・学校のカリキュラムを考慮した支援方法の検討を行います。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1	1	・訪問前後の時間を通じて、訪問先の先生方と意見交換を行うようにしています。	・必要に応じて、担当者会議の開催を検討します。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	0	・支援のあった当日中に共有するようにしています。	・当日中に連絡する連絡帳の記載内容について、分かりやすい記載を心がけます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0	・個人情報の取り扱いに対する研修を行い、十分に配慮するようにしています。	・個人情報の取り扱いに関する勉強会を実施して、丁寧に取り扱うように心がけます。

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	0	・訪問先の信頼を築けるように、定期的に支援内容や支援方法について、意見を求めるようにしています。	・相談があった場合には、訪問先の事情なども考慮しながら助言を行うように心がけます。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0	・放課後等デイサービスのマニュアルや訓練を通じて実施しています。	・引き続き、定期的に訓練を実施して、有事の際には安全に行動できるように努めます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0	・放課後等デイサービスのマニュアルや訓練を通じて実施しています。	・安全計画に沿った訓練方法の見直しを検討します。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0	・ヒヤリハットに該当する事案があった際には当日中に共有して、対応を協議しています。	・再発防止対策自体の振り返りも行っています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0	・定期的に虐待防止研修を実施しています。	・定期的に研修を行い、職員の支援の質の向上に努めます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0	・原則、身体拘束は行っておりません。	・引き続き、身体拘束を必要としない支援方法について検証を行います。